

研究の概要

2020 年 6 月 2 日

本研修の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名：	体外受精における遺伝子組換え型 hCG の有効性の検討
代表研究者 (所属)：	前田優磨 (HORAC グランフロント大阪クリニック 培養環境部門)
研究の目的：	遺伝子組換え型 hCG が従来の尿由来 hCG に代わる有用な自己注射用デバイスとなりうるかを評価する。
研究の方法 (使用する試料/情報等)	調節卵巣刺激法で採卵を実施し尿由来 hCG 5000 IU を投与した周期と遺伝子組換え型 hCG 250 μ g を投与周期で臨床成績を比較する。 アンケートは診療予約システムに登録されたメールアドレスへメールで配布する。アンケートは一人一回答とし、無記名で回収する。
研究対象者・期間	2016 年 10 月 1 日～2018 年 3 月 31 日
個人情報の取り扱い：	患者の個人情報ならびに治療過程によって得られた情報は匿名化処理を行っており、ID・パスワードによりアクセス制限をかけたデバイスに保存している。アンケートは調査のみの目的であり、無記名で回収し個人情報は扱わない。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先	IVF 大阪クリニック 06-4308-8824(代表) 培養環境部門・前田優磨